

親子聖書日課

[日]「主の仰せは清い」とは、語られることは真実で、実現するという事です。人の言葉は誠実さに欠けますが、御言葉に従って裏切られることはありません。「主はその仰せを守る」のは、いつの時代も変わりません。主に聴き従いましょう。

[月]詩人は、正しい人が苦しみ、悪人が栄えることに対して、「いつまで、主よ」と四度も主に訴えます。すると、嘆きが喜びに変わりました。神は「いつまで、主よ」と問い続けることを求めています。「もうすぐ」との答えを頂く日も近いことでしょう。

[火]「神などない」と、現代人も神を畏れず、自分勝手に生きているので、心は腐敗し、善を行うことができません。主は「神を求め人」を探しておられます。それは、自分の満足のためではなく、神の栄光のために、神の御心を求めて生きる人です。

[水]神の家に迎えらるる十の資格が記されていることから、「礼拝者の十戒」と呼ばれています。しかし、これが守れなくても大丈夫です。主が私達を神の家に住めるように贖って下さったのです。悔い改めこそ、神の家に入れる資格です。

[木]ペトロはこの詩編を引用して、「神はこのイエスを復活させた」と証しました。主は今も生きておられますから、主を信じる者も永遠に生きることができます。絶えず主と交わる人は、死が迫りくるとも、「体は安心して憩います」から、感謝です。

[金]「正しい訴え」は、何に基づくべきでしょうか。それは、自分の判断で正しいとするのではなく、主に「正しさを認められる」ことです。主の十字架の救いなくしては、正しく生きられませんから、「御顔を仰ぎ望み」主の御言葉に聴き従いましょう。

[土]ダビデは苦難の中で主の奇しき救いを経験します。「主は私の岩、砦、逃れ場、避け所、盾…」と主を賛美しましたが、とても言葉では言い尽くせなかったでしょう。自分の弱さを知ったので、主の力を頂いて、困難に立ち向かうことができました。



NO.1862 2024.6/2-8 名前

	聖書	問題	答え
日	詩編 12:1-9	主の仰せは何ですか。	
月	13:1-6	私の心は何に喜び踊りますか。	
火	14:1-7	善を行う者はいますか	
水	15:1-5	これらのことを守る人はどこしえにどうすることがないですか。	
木	16:1-11	私は絶えず主にどうしていますか。	
金	17:1-15	私は正しさを認められ、何を仰ぎ望みますか。	
土	18:1-51	主よ、私の力よ、私はあなたをどうしますか。	
感想と祈りの課題			